

2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月9日

上場会社名 株式会社リンクバル 上場取引所 東
コード番号 6046 URL https://linkbal.co.jp
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 吉弘 和正
問合せ先責任者 （役職名） 取締役 財務経理部 部長 （氏名） 松岡 大輔 TEL 050(1741)2300
半期報告書提出予定日 2025年5月9日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	442	△8.9	△62	—	△62	—	△64	—
2024年9月期中間期	485	—	△81	—	△81	—	△83	—

（注）包括利益 2025年9月期中間期 △64百万円（－％） 2024年9月期中間期 △83百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	△3.46	—
2024年9月期中間期	△4.46	—

（注）2024年9月期中間期及び2025年9月期中間期に係る潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	1,234	944	76.4
2024年9月期	1,316	1,006	76.4

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 943百万円 2024年9月期 1,006百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,106	14.3	16	—	16	—	10	0.55

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期中間期	19,500,000株	2024年9月期	19,500,000株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	758,506株	2024年9月期	773,430株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年9月期中間期	18,733,540株	2024年9月期中間期	18,716,112株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、国内外における物価上昇や急激な円安、米国を中心とした関税引き上げの経済的影響などによる世界情勢の不安定化に起因した資源価格の高騰等により不確実性を増しており、依然として不透明な事業環境が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは「machicon JAPAN」においては、検索エンジンのアルゴリズムアップデートにより、「machicon JAPAN」の検索エンジン経由のトラフィックが減少し、イベント参加者数が想定よりも下回った結果、前年同中間期比較で減収となりましたが、現在、検索エンジンでの順位は回復傾向にあり、イベント参加者数は増加しております。また、オンラインでの出会いを提供するマッチングアプリ「CoupLink」の運営については、引き続き、なりすまし業者をAI技術の活用によって徹底的に排除し、利用者に安心安全な利用環境を構築してまいりました。オンラインでの出会いを提供するマッチングアプリ「CoupLink」においては、「machicon JAPAN」及び「lon1 for Singles」との連携を強化し、利用者の相互送客を促進し、利用者数の最大化に努めております。1対1の出会いを提供するカフェラウンジ「lon1 for Singles」においては、接客の質の向上、利用体験の向上に努め、来店時の利用時間が向上しております。「machicon JAPAN」や「CoupLink」とは異なる層の利用者のニーズを捉えて、サービスの拡大を図っております。

この結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高は442,496千円となりました。損益面では、売上原価、販売費及び一般管理費合計が505,404千円となりました。その結果、営業損失は62,907千円となりました。また、経常損失は62,588千円、親会社株主に帰属する中間純損失は64,835千円となりました。

なお、当社グループはインターネットサイト運営事業の単一セグメントであるためセグメントごとの記載はしていません。サービスごとの取組みは以下のとおりであります。

（イベントECサイト運営サービス）

2025年3月末でリンクバルID会員数は275万人を突破し、当中間連結会計期間におけるイベントECサイト運営サービスの売上高は295,444千円（前年同期比12.5%減）となりました。

（WEBサイト運営サービス）

「CoupLink」及び「KOIGAKU」につきましては、当中間連結会計期間におけるWEBサイト運営サービスの売上高は147,052千円（前年同期比0.5%減）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ81,687千円減少し、1,234,707千円となりました。これは主に、売掛金が28,175千円増加、有形固定資産が20,666千円増加した一方で、現金及び預金が133,739千円減少したこと等によるものです。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ18,912千円減少し、290,652千円となりました。これは主に、預り金が8,022千円増加、資産除去債務が2,669千円増加した一方で、未払消費税等が17,160千円減少、未払金が5,175千円減少したこと等によるものです。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ62,774千円減少し、944,054千円となりました。これは主に、利益剰余金が64,835千円減少したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、938,758千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、営業活動により減少した資金は100,482千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失が62,472千円、売上債権の増加が28,175千円、未払消費税等の減少が17,160千円、預り金の増加が8,022千円となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、投資活動により減少した資金は31,594千円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が26,557千円、敷金の差入による支出が5,037千円となったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において、財務活動により減少した資金は1,662千円となりました。これは、長期借入金の返済による支出が1,662千円となったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2024年11月8日に公表した通期連結業績予想から変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,072,498	938,758
売掛金	81,919	110,094
未収入金	-	804
その他	21,552	18,200
貸倒引当金	△623	△531
流動資産合計	1,175,347	1,067,326
固定資産		
有形固定資産	103,163	123,830
投資その他の資産		
破産更生債権等	957	957
その他	39,068	44,735
貸倒引当金	△2,142	△2,142
投資その他の資産	37,883	43,549
固定資産合計	141,046	167,380
資産合計	1,316,394	1,234,707
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,503	3,909
1年内返済予定の長期借入金	3,324	3,324
未払金	68,675	63,499
未払法人税等	1,627	1,651
未払消費税等	22,917	5,757
前受金	18,874	16,502
預り金	11,569	19,591
賞与引当金	16,321	14,753
その他	12,644	11,822
流動負債合計	160,457	140,812
固定負債		
長期借入金	109,197	107,535
資産除去債務	18,925	21,595
繰延税金負債	5,184	5,809
長期預り保証金	15,800	14,900
固定負債合計	149,107	149,839
負債合計	309,564	290,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	499,630	494,750
利益剰余金	813,761	748,925
自己株式	△357,186	△350,306
株主資本合計	1,006,205	943,369
新株予約権	624	685
純資産合計	1,006,829	944,054
負債純資産合計	1,316,394	1,234,707

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）	当中間連結会計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年3月31日）
売上高	485,444	442,496
売上原価	99,505	101,935
売上総利益又は売上総損失（△）	385,938	340,560
販売費及び一般管理費	467,141	403,468
営業利益又は営業損失（△）	△81,202	△62,907
営業外収益		
受取利息	53	568
貸倒引当金戻入額	-	92
その他	129	63
営業外収益合計	182	724
営業外費用		
支払利息	51	404
損害賠償金	250	-
その他	-	0
営業外費用合計	301	404
経常利益又は経常損失（△）	△81,321	△62,588
特別利益		
新株予約権戻入益	57	115
特別利益合計	57	115
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△81,264	△62,472
法人税、住民税及び事業税	2,524	1,738
法人税等調整額	△349	625
法人税等合計	2,174	2,363
中間純利益又は中間純損失（△）	△83,438	△64,835
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△83,438	△64,835

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年10月1日 至 2024年3月31日）	当中間連結会計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年3月31日）
中間純損失（△）	△83,438	△64,835
中間包括利益	△83,438	△64,835
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△83,438	△64,835

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失 (△)	△81,264	△62,472
減価償却費	9,340	8,510
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,082	△92
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△111	△1,568
受取利息及び受取配当金	△53	△568
支払利息	51	404
新株予約権戻入益	△57	△115
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,120	△28,175
未収入金の増減額 (△は増加)	207	△804
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,268	△593
未払金の増減額 (△は減少)	△30,275	△5,175
未払消費税等の増減額 (△は減少)	11,876	△17,160
前受金の増減額 (△は減少)	623	△2,371
預り金の増減額 (△は減少)	△3,775	8,022
その他	240	3,204
小計	△90,966	△98,956
利息及び配当金の受取額	53	568
利息の支払額	△51	△404
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△627	△1,690
営業活動によるキャッシュ・フロー	△91,592	△100,482
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,256	△26,557
敷金の差入による支出	-	△5,037
関係会社貸付金の回収による収入	6,314	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,058	△31,594
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	△1,662	△1,662
財務活動によるキャッシュ・フロー	98,338	△1,662
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,803	△133,739
現金及び現金同等物の期首残高	1,154,420	1,072,498
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	30,000	-
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,196,224	938,758

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社は、インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで、営業損失、経常損失、当期純損失を4期連続計上し、当中間連結会計期間においても営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しているものと認識しております。

このような事象又は状況を解消すべく、マーケティング投資の拡大による既存事業の変革及び新規事業の強化を推進し進め、売上高の伸長を図るとともに、M&Aの実施による当社グループの拡大に取り組み、黒字化及び更なる成長の実現を図ってまいります。

また、当中間連結会計期間末において、938,758千円の現金及び預金を保有しており、当中間連結会計期間末から翌12ヶ月間の資金繰りを考慮した結果、当面の事業資金を確保していることから当社の資金繰りに重要な懸念はありません。

以上により、当社グループにおいては、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。